

宮沢賢治生誕120年記念
宮沢賢治学会福山セミナー2016

賢治さんを
まど・みちおと
較べてみたら...

宮沢賢治 における 文学と 視覚表現



ことばと絵が出会うところ

2016年11月26日[土]-27日[日] 福山大学宮地茂記念館 9Fホール[福山駅北口]

参加費: 500円(資料代) | お問い合わせ: 福山大学 人間文化学部青木研究室内 084-936-2111(内線: 3240)

主催: 宮沢賢治学会福山セミナー実行委員会(事務局・福山大学人間文化学部に) | 後援: 広島県教育委員会、福山市教育委員会、尾道市教育委員会、三原市教育委員会、府中市教育委員会、中国新聞備後本社、中国放送、広島テレビ | 協力: 福山大学、福山賢治を読む会

◇本事業は、一般財団法人義倉の助成金を得ています。

ことばと絵が出会うところ

—宮沢賢治における文学と視覚表現—



宮沢賢治・画
「月夜のでんしんばしら」
宮澤清六・彩色

26日 13:30
▼
17:00

トークと研究発表

宮沢賢治における文学と視覚表現

基調トーク

宮沢和樹氏に聞く賢治と絵の話
—祖父・宮澤清六から聞いた話
宮沢 和樹(林風舎代表)

宮沢 和樹 miyazawa kazuki

宮沢賢治の実弟・宮澤清六氏の孫。

花巻市の花巻駅近くに、賢治の世界に浸れるスペース林風舎を経営するほか、賢治の精神や作品を後世に正しく伝えるため、講演会や作品展示会などで全国で活動中。

聞き手:秋枝美保

研究発表

- ◎想像力への挑戦—賢治童話における〈形〉の問題—
秦野 一宏(海上保安大学校教授)
- ◎宮沢賢治における「心象スケッチ」と絵画への関心
—井伏鱒二と絵画の関わりを視野に—
秋枝 美保(福山大学教授)
- ◎賢治の《落書き／花壇設計／肖像画》の謎
平澤 信一(明星大学教授)
- ◎宮沢賢治と視覚メディア
押野 武志(北海道大学大学院教授)

交流会

時間:18:00～20:00 会場:福山駅周辺

会費:2000円

27日 09:30
▼
12:30

シンポジウム

宮沢賢治の絵画に見る表現意識

—詩人「まど・みちお」の絵画と詩の表現との比較を通して—
コーディネーター:秋枝美保

基調講演

まど・みちおの絵画と詩
—無意識の基層から現れるもの—
谷 悦子(梅花女子大学名誉教授)

谷 悦子 tani etsuko

大阪教育大学大学院修了。

著書に『まど・みちお 詩と童謡』、『まど・みちお 研究と資料』、『まど・みちお 懐かしく不思議な世界』、『伝記を読もう8 まど・みちお』、『児童文学の源泉としてのアニミズム』(共著)など、多数。

パネルディスカッション

視覚表現と言語表現との関係について考えるとは?

パネラーの報告

- ◎宮沢賢治のスケッチをめぐる言説分析
阿部 純(福山大学講師)
- ◎まど・みちおと宮沢賢治の〈絵画〉〈形式〉を比較する
—美術作家の視点から—
李 豪哲(美術作家)
- ◎宮沢賢治の「眼」について
—宮沢賢治と〈カメラになった男〉中平卓馬をつなぐ—
安田 暁(福山大学准教授)
- ◎教育／芸術的実践としての宮沢賢治「教材絵図」
津口 在五(鞆の津ミュージアム 学芸員)